

広報

諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass



諏訪バイパスの整備効果～其ノ2～

■バイパスの整備効果3:地域産業の活性化 (VOL.10「整備効果1・2」のつづき)

現在、諏訪地域では、市街地内を通行する車両の渋滞により、高速道路インターチェンジへの円滑なアクセスが大変困難な状況となっています。諏訪バイパスの早期整備により、こうした状況の改善や、地域産業の更なる活性化が期待されます。



飯島交差点付近交通状況

《観光、イベントへの効果》

諏訪地域には、諏訪湖や諏訪大社、霧ヶ峰高原をはじめとした観光地や、御柱祭、諏訪湖祭花火大会等の全国的な知名度を持つイベントが数多くあります。特に春から夏にかけての観光シーズンには多くの来訪者がありますが、観光客と車両の集中による混雑が大きな課題となっています。

諏訪バイパスの整備により、最寄りのインターチェンジまでの所要時間は2分の1程度に短縮されると試算されており、混雑緩和、集客促進等の効果が見込まれます。

《製造業への効果》

諏訪地域は精密機械工業が盛んで、生産量のおよそ8割を首都圏や中京圏以西へ出荷しています。しかし、道路混雑により、最寄りインターチェンジへのアクセスが悪く、工業集積地の立地特性を活かせない状況となっています。

諏訪バイパスの整備は、流通をスムーズにし、入出荷にかかる時間が短縮されることで産業活性化、地域経済の発展に寄与します。



大社通り四ツ角付近 貨物車両の混在状況

《今後の流れについて》

現在、諏訪バイパス事業について、環境に及ぼす影響が最小限となるよう、事前の調査、予測及び評価を行う「環境影響評価」が実施されています。周辺住民の皆さまのご協力をいただきながら、騒音や水質、生態系などについて調査を行い、次の段階となる「準備書」で、調査、予測、評価を経た環境保全対策の検討結果を示し、環境の保全に関する考え方をまとめます。

これに並行して、県では都市計画道路の変更手続きを行います。現在は、500m幅のルート帯が示されていますが、今後、「ルート・構造の原案」が具体的に示され、その後、都市計画道路の変更を行い、諏訪バイパスの事業化へと進んでいきます。

地域の皆さまのご意見をいただきながら進めていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

発行主体

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会（諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会）・下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

視察研修を行いました。

8月20日(月)に、道の駅「ヘルシーテラス佐久南」と中部横断自動車道の視察研修を行いました。

道の駅「ヘルシーテラス佐久南」では、地域活性化をテーマに説明を受けました。農業体験イベントの実施や、大船渡市(友好都市)のサンマの販売等、知名度を高めるために行われた様々な工夫を知ることができました。

また、中部横断自動車道では、事業の進め方や整備による効果、「佐久穂地区改良6工事」等特徴のある工事についての説明を受け、今後のバイパス事業推進のための有意義な視察研修となりました。



ヘルシーテラス佐久南での研修

長野国道事務所・長野県建設部への要望活動を行いました。



長野国道事務所塩谷事務所長への要望

11月7日(水)に、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所へ諏訪バイパスの早期事業化と下諏訪岡谷バイパスの早期完成に向けた事業促進を要望しました。塩谷長野国道事務所長から「ルート・構造の原案については、そう遠くない時期に示していきたい。」というコメントをいただき、今後の事業の更なる推進に期待が膨らみます。

また、長野県建設部への事業支援要望を併せて行い、臼田建設技監からは、「引き続き環境影響評価の手続きを進めると共に、ルートの決定、事業化に向けて国へ働きかけたい。」という前向きなコメントをいただきました。



長野県建設部臼田建設技監への要望

問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL：0266-52-4141（内線271）／FAX：0266-52-8164／E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課国道バイパス推進室兼関連調整係

TEL：0266-27-1111（内線246）／FAX：0266-28-8783／E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp